

自然散策マップ

歴史と名木を訪ねる



行田公園コース

無線基地としての歴史を残し、今は市民が集まる自然豊かな行田公園と船橋名木 10 選に市民が選んだ樹木のうち、「熊野神社のタブノキ」「光明寺のヤブツバキ」「葛羅の井のケヤキ」「葛飾神社のクロマツ」の 4 本が見られるコース。船橋の歴史と名木を楽しめます。

12 葛飾神社のクロマツ



市内で最も太いクロマツで、葛飾神社本殿を囲む玉垣の中にそびえ立ち、幹が二又に分かれています。枝が社殿を覆うように笠状に伸長しており、南側から眺める姿は、社殿と一体化しているような美しい景色を成しています。江戸時代の『江戸名所図会』では「勝間田の池（現勝間田公園）」の脇にある熊野宮のクロマツが描かれており、古くから親しまれていたことがわかります。地元では、樹齢約 400 年と言われており、船橋名木 10 選であると共に、市の天然記念物にも指定されています。

アカマツに比べ、樹皮が黒っぽいことからクロマツと呼ばれています。また、葉はアカマツより硬く塩水や潮風に強く、海岸沿いに防風林などとして植えられているのを良く見かけます。庭園や盆栽用としてもよく植栽されています。



クロマツ

10 ゲエロの池



ゲエロの池にはかつて、たくさんのホタルがいました。溢れ出る豊かな水はその辺一帯の水田や畑などに利用され、収穫した野菜の洗い場にもなっていたと伝わります。一時はゴミが捨てられるような汚れた池になっていましたが、今は、市民のみなさんの憩いの場として整備されています。ゲエロとは「カエル」のことです。

やや湿った場所に生えるケシ科の多年草で、高さ 20～50cm ほどの大きになります。船橋市で多く栽培されているニンジンによく似たやわらかい葉をしていますが、アルカロイドを含む毒草です。4 月～6 月頃に筒状で先は唇形の紅紫色の花をたくさんつけます。漢字では「紫華蔓」と書き、華蔓という仏殿の欄間に施された装飾具に似ているところからつけられました。茎を傷つくとくさい匂いがします。



ムラサキケマン



3～4 行田公園

行田公園を含む地区が円形の道路で囲まれているのは、昔この場所に海軍の無線基地があった名残です。無線電信所が設置されたのは大正 4 年。真中に高さ約 200 メートルの主塔、周囲に高さ 60 メートルの副塔が 18 本立ち並ぶ大規模なもので、性能は当時世界でもトップクラスでした。現在は、東西に扇形に広がる公園となっており、多くの樹木が植栽されています。春から初夏にかけてエゴノキ、ツバキ、サクラ、コブシ、センダン、ユリノキ、ハクウンボクの花等を楽しむことができます。

6 上山公園



周囲は住宅地ですが、緑が多く、上山公園は付近を流れる葛飾川の源流となっています。コナラ、カシワ、クヌギ等の背の高い雑木林があり、秋にはドングリがたくさん落ちています。春にはムラサキケマンの群生が見られます。

- ! ゴミは持ち帰りましょう。
- ! 動植物を大切にしましょう。
- ! 社寺等の敷地に立ち入る場合は、施設や他の利用者に迷惑をかけないようにしましょう。
- ! ヘビやハチに注意しましょう。

コース 全長 6.3km

1 東武アーバンパークライン 塚田駅	700m
2 諏訪神社	100m
3 行田公園東の芝生広場	500m
4 行田公園西の芝生広場	500m
5 古作町北公園	500m
6 上山公園	650m
7 古作町南公園	650m
8 熊野神社	900m
9 八坂神社・光明寺	160m
10 ゲエロの池	400m
11 葛羅の井・ケヤキ	500m
12 葛飾神社のクロマツ	400m
13 春日神社	300m
14 京成西船駅	

裏側には藤原・丸山コース